

2026 年 8 月 25 日
矢崎エナジーシステム株式会社

タイのアルミ新工場が竣工し、開所式を開催

需要拡大を背景に、アルミ電線の生産能力を 3 倍に増強

～主に送配電用アルミ電線を生産し、自動車向けアルミハーネスの供給基盤も担う～

矢崎エナジーシステム株式会社（本社：東京都港区、社長：矢崎 航）は、タイ王国（以下、タイ）サムットプラカーン県に建設を進めておりました「タイ矢崎電線株式会社 アルミ新工場」が完成し、8 月 19 日（水）に開所式を執り行いました。

開所式には、タイ国関係者、建設業者、地域の方々、当社関係者など約 100 人が参加しました。



（アルミ新工場）

新工場の稼働により、タイ矢崎電線のアルミ電線の生産量は、現状の約 3 倍に増強されます。

生産品目は、アルミ線とアルミ合金線で、今般のタイでの電力需要増加に伴い、タイの電力公社が整備を進める送配電網用のアルミ電線を主に生産します。

また、軽量化とそれに伴う環境負荷の低減を狙い、今後、自動車向けアルミハーネスの拡大が予想されることから、アルミハーネスについてもその供給基盤を担う方向で取り組んで行く予定です。

安全・品質・技術力をこれまで以上に磨き、皆様から信頼される企業であり続けることをお約束いたします。

また、タイ矢崎電線はタイ社会の一員として、地域雇用の創出、人材育成、環境保全活動にも積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

矢崎エナジーシステム（株）代表取締役社長 矢崎航の開所式での挨拶（要旨）

「タイ矢崎電線は、1962年の設立以来、60年以上にわたりタイの経済発展とともに歩んでまいりました。この長い歴史はお客様からの信頼、地域社会をはじめとする多くの皆様のご支援、そして従業員一人ひとりの努力によって築かれたものであり、改めて深く敬意と感謝を申し上げます。現在、世界では電力インフラの高度化や都市開発、再生可能エネルギーの普及など、大きな変化が進んでいます。その中で、私たち電線メーカーに求められる役割もますます重要になっています。

矢崎グループは創業以来、「世界とともにある企業」「社会から必要とされる企業」という社是のもと、事業活動を続けてまいりました。社是実現には、お客様の期待を超える価値を提供し続けることが何より重要です。

これからも私たちは、お客様との信頼関係を礎に、安全・品質を最優先としながら、変化する市場ニーズに応え、タイのみならず ASEAN 地域の発展に貢献してまいります。そしてタイ矢崎電線が、これからの10年20年、さらにその先も、お客様から信頼される企業として成長し続けることを期待しております。」

＜式典の様子＞



（矢崎航社長による挨拶）



（テープカット）



（仏教式典）



（稼働式）

新工場建設の背景と経緯

- タイでは、電力需要の高まりを受け、送電線網・配電線網の整備が計画・実施されています。
- 今後のアルミ電線の需要増に対し、タイ矢崎電線の既存アルミ工場の供給量は上限を迎えており、生産能力の増強が課題となっていました。
- この度のアルミ事業への投資により、タイの各電力公社の案件を多く獲得することが可能になったことから、タイでの事業の安定化とシェア拡大につなげて行きたいと考えています。
- アルミ新工場では、新設備にて生産効率の向上、品質向上、環境負荷低減を行います

新工場の概要

- 名称：タイ矢崎電線株式会社 アルミ新工場
- 所在地：タイ王国サムットプラーカーン県
- 開所日：2026 年 8 月 19 日
- 稼働予定日：2026 年 8 月
- 生産品目：送電用電線、配電用電線、自動車用電線
- 敷地面積：145,464 m²
- 工場建屋面積：21,791 m²
- 従業員数：270 人



(新工場の溶解設備)



(新工場の圧延*設備)

*アルミニウムの塊を回転するローラーの間に通し、強い力で押しつぶしながら薄い板やシート状に引き延ばす加工方法

当社のタイでの事業展開の歴史

1962 年 7 月 10 日、サムットプラーカーン県にタイ矢崎電線有限公司（現 タイ矢崎電線株式会社）の工場が竣工し、開所式が執り行われました。これは矢崎グループ初の海外拠点であり、当社の海外事業展開の原点となりました。その後、タイを重要な事業拠点として事業を拡大し、現在ではタイ矢崎電線株式会社のほか、ワイヤーハーネスやメーターなどの自動車部品を製造するタイ・アロー・プロダクツ株式会社を含む 5 社を展開しています。

■ 矢崎エネルギーシステムについて

矢崎グループの一員として、電線やガス機器、計装機器、空調・太陽熱利用機器などの生活環境機器の開発・製造・販売を一貫して行っています。「あらゆるエネルギーの総合プロデュース企業」を目指し、電気・ガス・太陽熱等を基本とする多様なエネルギーを最適活用できる製品やサービスを提供し、持続可能な社会と快適な環境づくりに貢献しています。